

平成 28 年度決算について

平成 29 年 6 月 14 日
あいの風とやま鉄道株式会社

1 決算概要

平成 28 年度の当社決算は最終利益が 6,912 千円で、前期利益額(70,238 千円)からは減少したものの、三期連続の黒字を計上することができました。

営業収益では、前年度以上の金額を確保したものの、営業費用が前年度を大幅に上回ったため、営業収支で 46 百万円の赤字となり、繰延資産の償却費等を計上した後の経常収支では 224 百万円の赤字となりました。

このため、県からの経営安定基金補助金(2.2 億円)の交付を受け、最終的には黒字を確保することができました。

H28 決算額と過去の推移

(単位 百万円)

区 分	H28	H27	H28 - H27	H26
営業収益	5,744	5,704	39	310
営業費用	5,789	5,397	392	384
営業利益	△46	307	△353	△73
経常利益	△224	121	△345	△89
税引前利益	19	150	△131	37
最終利益(税引後)	7	70	△63	29
総資産額	11,739	9,073	28,666	19,289

2 内訳等

(1) 営業収益

営業収益は合計 5,744 百万円で、前期を約 39 百万円上回っています。

内訳は運賃収入が 67 百万円の減少となったものの、貨物線使用料が 80 百万円増加したことや、構内営業や広告等の収入でも前年度を上回る金額を確保しました。

なお、貨物線使用料は、当社が行った保線工事等の修繕費用に対して一定比率が支払われるものであり、増加原因は、当社修繕費増加によるものです。

(2) 営業費用

営業費用は、合計 5,789 百万円となっており、前期から 392 百万円、7%以上の増加となっています。

原因としては、当社経費のなかで最も大きなウエイトを占める修繕費が 3 億円以上、諸税が 1 億円以上増加していることが大きく影響しています。

これらの経費は、前年度が開業初年度の特例により、通常ベースでの発生額に至らなかったものであり、H28 年度の発生額が通常ベースでの発生額になるものです。

※昨年度の特例

修繕費：工事等の発注・執行体制が整わず、完成工事額が少なくなったもの。

諸 税：H27.3時点でJR西日本から譲渡を受けた資産の固定資産税相当分が譲渡金額に含まれており、資産処理したために発生しなかったもの

その他の費用については、人件費が44百万円の減少となっているほか、除雪費用については、前年度比では増加していますが、H28年度も暖冬であったため、計画値から大幅に減少しています。

(3) その他収支

営業外収支として、線路付近の道路改良や点検工事での自治体等からの受託工事分が計上されています。(収益81 費用71百万円)

その他、昨年度に引き続き、繰延資産償却を行っています。(償却額191百万円)

(4) 特別利益等

経常損失が発生したことにより、県経営安定基金補助金の運賃抑制と乗継割引対象分が初めて交付され、基金全体から220百万円が補助されています。

この他、下記の施設整備を対象にした補助金等が交付されています。
なお、これらについては、基本的に圧縮処理対象となっています。

当社の施設整備を対象にした補助金：1,785百万円

(対象：新指令設備、新造車両、高岡新駅等)

富山駅連続立体事業の工事負担金：209百万円(未成分はBS計上)